

第9回奈良市子ども・子育て会議事業計画策定部会の概要

開催日時	平成27年2月5日(木) 午前10時～正午
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第22会議室
議 題	1. 意見募集結果に対する本市の考え方(案)について 2. 奈良市子ども・子育て支援事業計画素案(概要版)について 3. その他
決定事項	・パブリックコメント手続の結果と今回の会議の意見を踏まえて、事務局案の修正を行う。
出席者	出席委員13人(欠席委員1人)・事務局8人
開催形態	公開(傍聴者:1人)
担当課	子ども未来部子ども政策課

議事の内容

1. 意見募集結果に対する本市の考え方(案)について
事務局より、子ども・子育て支援事業計画素案に対するパブリックコメント手続の結果及び意見に対する本市の考え方について、資料1を基に説明を行った。

〔質疑・意見の要旨〕

栗本委員 子ども会議がどのような内容かというところで、ただやるだけではなくて、このように活かされるということも少し含んだほうがよいと思います。

岡本委員 地域子育て支援拠点事業にしても学童保育にしても、せっかく愛称があるのに、お役所的な言葉にしてしまうと、何を指しているのかわからなくなってしまうので、少し惜しいなと思いました。みんなが知っているものがこうなったという説明のほうがわかりやすいのではないかと思います。

北岡委員 文章や本にされても、読まない、わからないとなってしまうので、従来の言い方をカッコ書きしていただくとありがたいと思います。

部会長 制度を知っている私たちでもどんどん変わる印象があるので、利用者からすれば何かどう変わったのか、一緒なのか等、利用者目線をどこかで反映させていただきたいと思います。

掘越委員 3ページ目の「奈良市立こども園カリキュラムをコラムのような形で」というところで、さらに小学校との接続も意識した形でのカリキュラム作成を考えますというような内容を一言追加すると、さらにその先まで考えているという姿勢が見えるのではないかと思いますので、補足していただければと思います。

2. 奈良市子ども・子育て支援事業計画素案（概要版）について

事務局より、子ども・子育て支援事業計画素案の概要版のイメージについて、資料2を基に説明を行った。

〔質疑・意見の要旨〕

栗本委員 余白や字の間隔等、全体的なレイアウトは十分見やすいと思います。奈良市にはキャラクターがいますので、ここにイラストを入れてもよいかと思えます。また、18ページからの教育・保育の量の見込みと提供体制と、それまでの基本方針のところまでは、タイトルだけを見ると違う印象があり、主な取り組みの中に18ページからの内容が含まれるという認識は持ちにくいと思います。

岡本委員 概要版だから本編のとおり圧縮しているということは非常によくわかりますが、量の見込みと確保方策というタイトルを見ても、市民にはわかりにくいと思います。もっと馴染みのある言葉で、このようなことに力を入れます、これはどのような人が利用できるものだ、というような内容を書いた方が、市民にはわかりやすいのではないのでしょうか。概要版は市民の人が手に取った時に、自分がどこに該当するのかがわかるということが大事だと思いますので、この量の見込み等も市としては大事なこともかもしれませんが、言葉の使い方と、思い切った編集をしなければならないと思います。さらに、利用する人の視点で文言を書き換えていくとすれば、これが唐突に出てきたものではなく、「皆さんの声が形になった計画書です」というような内容が1番最初に書き込まれていることが大事だと思うので、アンケートの結果も少しあってもよいのかなと思います。アンケート調査の奈良市の回収率はとても高かったし、そのことももう少しPRしてもよいのではないかと思いますので、「皆さんの声が反映されましたよ」という内容を概要版ではPRしてもよいかなと思います。

北岡委員 分厚いものを渡されるよりも、こういった概要版があると、本当に見やすくわかりやすいものになるものだなと思いました。本当は全部読まなければいけないと思いますが、自分の子どもが小学生で、この辺りの内容はいらなくなった場合に、これを1枚ずつめくることを思うと、「小学生は〇〇ページからですよ」等の案内を書いていただくと、より読みやすくなると思いました。色々なことを知りたい方はホームページも見るとし分厚い本も見るのでしょうが、概要版で済ませてしまう方が多いと思いますので、そのようなページがあればありがたいと思いました。これを本当にたくさんの方々に手に取って読んでいただけるようにしていただけたらありがたいなと思います。

部会長	全体版での該当ページを記載しておけば、概要版との繋がりが生まれま すし、詳しく知りたい人にも調べやすくなると思います。
浜田委員	概要版は手に取ってくださる方々にわかりやすく、というのは大事です が、この概要版は利用者パンフレットではないと思います。今回の奈良市 の取り組みの良いところは、子どもにやさしいまちということで、子ども にとって何が1番大事なのかということについて、子ども同士が出会い、 地域で一緒に子育ての環境をつくり、大変な家庭も含めてお母さん、お父 さんを応援していくということなので、「このようなサービスを受けられ る」というお得感だけではいけないと思いますので、やはり3本の柱をき ちんと伝えるということを大事にしていきたいと思います。
掘越委員	自分がどこに該当するかということを知りたい方が、本当に多いと思 います。「妊娠期の方へ」や「乳幼児の子どものご家庭へ」、「学童のご家庭へ」 等があり、こんな事業が当てはまりますよという見取り図が1ページでも あると、わかりやすくなると思いました。せっかくのサービスが対象者に 届くようになればよいと思います。
部会長	わかりやすさを追求するということは、皆さんで熱い議論をしてしま したので、事務局はじめ、会議で考えてきたこの議論が活かされるように、 わかりやすさは外さないように、かつ、利用者目線になり過ぎないとい うことを大事にしたいと思います。意見募集の結果と今日の委員のご意見 を踏まえまして、最終的に事務局としてこの事業計画をまとめていただ けたらよいかと思います。
3. その他 事務局より、次回会議の日程について説明を行った。	
資 料	【資料1】奈良市子ども・子育て支援事業計画（仮称）素案に対する意見募集結果 【資料2】奈良市子ども・子育て支援事業計画素案概要版イメージ